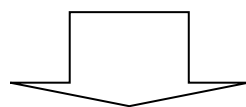


令和元年度 文京区立柳町小学校 授業改善推進プラン 1年

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み、内容の大体を捉えること。</li> <li>経験したことや想像したことから書くことを見付け、伝えたいことを表現すること。</li> <li>行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。</li> <li>互いの話を集中して聞くこと。</li> <li>平仮名や片仮名を正しく読んだり書いたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し音読をさせたり、題名や写真・挿絵などを手掛かりにさせたりする。</li> <li>モデルを示したり、学習計画を立てて学習の見通しをもたせたりすることで、伝えたい相手に伝えたいことを表現しようという意欲付けを行う。</li> <li>ペアやトリオで対話をさせることで、伝えたい事柄やその順序を明確にもたせる。</li> <li>友達の言いたいことは何かを考えながら聞くようにさせる。</li> <li>日常的に書く機会を設け、書くことに慣れさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。</li> <li>加法及び、減法の意味を理解し、用いることができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体物やおはじきなどの半具体物を用いて考えさせることで、個数や順番を正しく数えたり表したりする。</li> <li>具体物・半具体物の操作、図・式で表現という手順を踏むことで「あわせて」「みんな」「のこり」「ちがいがい」等の言葉の意味を実感させ、加法や減法の計算方法を身に付けさせる。</li> </ul>
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身近な人々、社会、自然との関わりに気づき、自ら働きかけていこうとすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校探検やふれあい給食、植物の栽培、動物とのふれあいなど具体的な活動や体験などを通して、学ぶ機会を設ける。</li> <li>活動を通して気付いたことや楽しかったことを、言葉や絵、動作など多様な方法で表現し考えることができるようにする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。</li> <li>誰とでも仲よく活動し、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しんで活動しやすいように単元にあった場の設定をする。</li> <li>動きをイメージしやすいようなワードやルールを取り入れる。またリズムに乗って体を動かすことで楽しさを感じられるようにする。</li> <li>友達のよい動きを見つける機会を増やすために、交流の場を設け、児童同士が声をかけあって活動できるようよい動きや声かけの例を示す。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の気持ちを想像し、表現すること。</li> <li>これまでの自分を振り返ったり、今後の自分の在り方について考えたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでの役割演技やグループでの話し合い、ワークシートへの記入などを設定する。</li> <li>ワークシートなどを活用して、じっくり考える時間を確保する。</li> <li>意見がもてない児童に対しては、友達の発言から同じや似ている、違っているなど自分の考えを表現できるようにしていく。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。また、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養うこと。</li> <li>・音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌のレパートリーを広げ、みんなで歌う楽しさを味わえるようにする。また、音遊びを通じて、身近な音に親しみをもち、音を音楽にしていく際には、教師の具体的な指示や児童の活動に対して価値付けや全体へ共有できるようにする。</li> <li>・まず、児童が表したい思いをもち、それを実現したいという気持ちになり技能を習得できるようにする。特に、低学年は「拍」にのる意識をつかませていく。また、曲想や歌詞の表す情景を手がかりに、児童が楽しみながら技能を伸ばしていけるように指導を工夫する。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、手や体全体の感覚や技能などを働かせ、材料や用具を用いて表現すること。</li> <li>・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにすること。</li> <li>・楽しく表したり見たりする活動に取り組み、作り出す喜びを味わうこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能面に関しては、図や実演などで示す。繰り返し取り組めるように設定する。また、個別に指導する必要がある場面を見落とさないように気を付けて指導する。</li> <li>・自分の作品のよさに気付かせ、自信をもたせる。また、友達の作品のよい点などを見付けるような交流の場を設ける。</li> <li>・学習意欲をもつことができ、持続できるような内容を設定する。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼
国語	

算 数	
生 活 科	
体 育	
道 德	
音 楽	
図 工	